

(様式2)

校 種	小 ・ 中 どちらかに○	学校番号	5 8	学校名	宇都宮市立西が岡小学校
-----	-----------------	------	-----	-----	-------------

令和2年度 学習指導に関する取組

1 学習指導上の主な実態

(1) とちぎっ子学習状況調査から

- ・国語の「書くこと」の「指定された長さで文章を書く」問題の正答率は、県の平均と比べ、4年生で10.8ポイント、5年生で14.2ポイント下回っている。また、「2段落構成で文章を書く」問題の正答率は、県の平均と比べ、4年生で13.6ポイント、5年生で14.5ポイント下回っている。
- ・国語・算数・理科のどの教科でも記述式問題の正答率が低く、無回答率が高い。
- ・算数では、「数の相対的な大きさについて理解する」問題の正答率は、県の平均と比べ、4年生で10.0ポイント、5年生で12.2ポイント下回っている。また、4年生の「身近にあるものの重さの単位について理解する」問題の正答率は、県の平均と比べ、9.6ポイント下回っている。5年生の「身近にあるおよその面積を理解する」問題の正答率は、県の平均と比べ、6.1ポイント下回っている。
- ・前年度までに学習した内容を忘れてしまっている児童が多く見られる。

(2) 学習と生活についてのアンケートから

- ・「勉強が好き」と回答している児童の割合は、ほとんどの学年で市の肯定割合より低い。
- ・学習時間についての質問で「ほとんどしない」「10分くらい」と回答している児童の割合は、平日、休日ともに市より高い学年が多い。
- ・「先生や友達の話最後まできちんと聞いている」と回答している児童の割合は、すべての学年で市の肯定割合より高い。学習のルールは意識付けられてきている。
- ・「学習に対して、自分から進んで取り組んでいる」「授業で習ったことを自分なりに分かりやすくノートなどにまとめている」と回答している児童の割合は、上学年で市の肯定割合より低い。

(3) 授業等への取組状況から

- ・体験的な活動に意欲をもって取り組む児童が多い。
- ・決められた課題には、真面目に取り組もうとする児童が多い。
- ・2～4人程度の少人数での話し合いは慣れてきたが、自分の言いたいことを正確に伝えたり、相手の気持ちや意図を正確に聞き取ったりすることに消極的な児童が見られる。
- ・習得した知識・技能を活用して課題を解決したり、粘り強く最後まで取り組んだりする態度は十分とは言えない。
- ・各教科における基礎的・基本的な内容の習熟についての個人差が大きく、時間の経過とともに忘れてしまい理解できていない児童も多く見られる。

2 今年度の重点目標

- ・児童の実態や特性を踏まえ、新学習指導要領の趣旨を具現化した分かる授業を展開し、学習意欲の向上に努めるとともに、家庭学習の習慣化を図り基礎学力の定着に努める。

3 今年度の取組（「学校教育スタンダード」に関する取組は文頭に★，「令和2年度指導の重点」に関する取組は文頭に□，授業における取組のうち重点は文頭に○）

（1）分かる授業を目指した授業力の向上

□「西が岡スタイル（つかむ、考える・つなぐ、まとめる、ふりかえる）」を取り入れた授業の実施

○どの児童にも分かりやすい授業展開の工夫

- ・課題提示，教材提示，発問の工夫（特別支援教育の視点を取り入れる。）
- ・学習した経過や学んだ内容が分かりやすい板書の工夫
- ・「めあて」「まとめ」「ふりかえり」までが明記され，授業の流れや学びが見えるノート指導の工夫
- ・一人一授業の公開による授業研究
- ・授業の終末で学習内容を振り返り，学んだことを共有する場の設定

★児童の実態に応じた言葉掛け，学習方法，教材など，個に応じた支援の工夫

（2）学習意欲を高める指導の工夫

- ・興味を高める導入の工夫

□体験的学習や課題解決的な学習の積極的導入

★自力で課題解決にあたる時間の確保

○ペア学習，グループ学習など，交流して課題解決にあたる場の設定

- ・目標や内容，個人の理解度に応じた多様な学習形態の工夫
（習熟度別学習，養護教諭・学校司書・栄養職員とのT・T，企業や行政との連携など）
- ・個人差に応じた自主学習の仕方の支援と奨励

★ICTの活用

（3）基礎・基本の徹底

★各教科の基礎的な学習内容や話の聞き方などの繰り返し指導

○朝の学習の時間の効果的・計画的な活用

- ・読む時間の確保

□単元や学期ごとに復習する機会の設定

（4）家庭・地域と連携した学習指導の充実

★適切な分量・内容の宿題による家庭学習の習慣化

- ・「学習チャレンジ週間」の実施による，家庭と連携した学習習慣の定着と意欲の向上
- ・地域人材を活用した読み語りやふるさと教室（昔の遊び・昔のくらし体験）の実施

★民間企業や行政の出前授業を活用した体験的学習の実施

★ボランティアを活用した活動と支援（探検活動・校外学習の補助，夢いっぱい教室など）

- ・夏期学習会
- ・学年・学級懇談会（4・6・2月）

（5）地域学校園との関連

★基本的な学習習慣の育成・徹底

★個人差に応じた適切な指導と援助

□保護者への家庭学習についての継続的な意識啓発活動